



Weekly Report

2024-25



60th
Anniversary

創立/1965年5月22日
例会日/毎週木曜日 PM12:30~
会場/江南商工会館1F 大ホール
江南市古知野町小金112
0587-54-8132

事務局/江南商工会館 別館1F
TEL/0587-55-6554
FAX/0587-59-7720
URL/https://www.konan-rc.com
Mail/konanrc@beach.ocn.ne.jp
会長/南村 朋幸 幹事/三輪 慎一郎 会報委員長/横山 史明



2024年(令和6年) 7月 11日 (木) 晴れ 第2805回(当年度第2回 例会)

点 鐘
司 会

国歌斉唱

ロータリーソング斉唱

四つのテスト斉唱

— 言行はこれに照らしてから —

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長挨拶

会長 南村 朋幸君

SAA 岩田 静夫君

「君が代」

「奉仕の理想」

ソングリーダー

田中 健君

田崎健一郎君

会長 南村 朋幸君



皆様、こんにちは。

本日は、岩倉ロータリークラブの檜木会長と武藤幹事、また、愛知友愛ロータリークラブの天野会長、小田幹事にもお越し頂きありがとうございます。

皆様にも今までの江南の例会と少し違和感を持たれているかも知れませんが、今年度のわたくしの方針として、誰しもが参加しやすい例会を目指し、「通常例会時

の服装自由化」を掲げさせて頂きました。

本日の会長挨拶は、私の年度方針の重点目標の二つ目についてご説明させて頂きます。この江南ロータリークラブはお陰様で本年60周年を迎えました。人であれば還暦を迎えいよいよセカンドライフに入ってくるそんな時期です。江南クラブにおいても次なる100周年を目指しRIと共に変わっていく、そんな時期に差し掛かっていると思います。

例会の在り方や格式について、いろいろなご意見もあることも承知いたしております。しかしながら、ロータリーは例会に参加してナンボと言う言葉があるならば、格式よりも実を取る「出席しやすさ」がこれからは重要になってくると思います。

ある若いロータリーメンバーについて、こんなエピソードがあります。

そのメンバーは、仕事は現場に出ているのでよく作業着で仕事をしているそうです。例会は木曜なので仕事の都合が付けば問題ないのですが、やはり現場によっては曜日を選ばず仕事になる時もあるようです。そんな時に彼は、例会前の時間ギリギリまで仕事をして、車の中でスーツに着替えてから例会に来ると言う事がしばしばあるそうです。

やはり昔とは様変わりし業種も多岐にわたり、いろいろな方をこれからメンバーとして受け入れていくには、やはり多様性を享受する環境が整っていないといけません。

その準備の一つとして、この「服装自由化」という制度を取り入れる決断をしました。

ただしこの自由化、いついかなる時でも自由かと言われれば答えはNOです。

江南で行う通常の例会時に限り自由化とさせて頂きま

す。
 ガバナー公式訪問やIM, 地区協など対外的に出掛ける時は、そこは協調性をもってロータリアンとしての良識のもと、準じたドレスコードでお出掛け頂きます。
 本日も一昨年の武藤ガバナー補佐もお見えになっておりますが、江南の地において頂くガバナー補佐訪問時には、敢えて江南のスタイルを見て頂く為に、服装自由化のままお迎えいたします。
 このように慣れてくるまでは、メンバー皆様もどの格好をしているのか分からず迷うこともあると思うので、必ず事前のご案内では、ドレスコードの項目を入れるように致します。
 これからの江南ロータリークラブを存続させる為に、この施策は必要不可欠だと信じておりますので、メンバー皆様にはご理解とご協力の程、お願い申し上げまして、挨拶と代えさえ得て頂きます。

ゲスト及びビジター紹介



岩倉ロータリークラブ 会長 檜木 治幸様



愛知友愛ロータリークラブ 会長 天野 元成様



愛知友愛ロータリークラブ 幹事 小田 純也様



岩倉ロータリークラブ 幹事 武藤 栄司様

幹事報告 -別紙- 幹事 三輪 慎一郎君

祝 福 委員長 内田 吉信君

出席報告 委員 林 庸介君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
49名	36名	13名	78.26%

ニコボックス 委員 林 庸介君

○「周年の 精鋭部隊の 虫の声」
 前半戦、宜しくお願い致します。
 南村 朋幸、永田 広光、三輪 慎一郎、北畑 祐二 各君

○創立60周年おめでとうございます。今年も宜しく
 お願い致します。

岩倉ロータリークラブ 会長 檜木 治幸様
 幹事 武藤 栄司様

○親クラブ江南ロータリークラブ様、今年度も宜しく
 お願い申し上げます。

愛知友愛ロータリークラブ 会長 天野 元成様

○本日も参加させて頂きありがとうございます。今年度もよろしく願い致します。

愛知友愛ロータリークラブ 幹事 小田 純也様

○ロータリー財団委員会年間事業計画を発表させて頂きます。テーブルの中央にあるエンドポリオ募金ご協力お願い致します。

猪子 明君

○本日、クラブ管理運営常任委員会年間計画発表させて頂きます。

波多野 智章君

○本日、卓話させて頂きます。

山崎 博征君

○7月17日に創立21周年を迎えます。いつもありがとうございます。

※静夫さん、新聞の取り寄せありがとうございます。

内田 吉信君

○本日、卓話にて例会運営委員会の方針を発表させて頂きます。

田中 健君

卓話 「各委員会年間行事計画発表」



SAA 岩田 静雄君

本年度SAAを務めさせて頂きます岩田静夫です。副SAAとして、田中 健君、岩田進市君の3名で頑張りたいと思いますので、宜しくお願い致します。

SAAにつきましては、委員会事業計画書に記載の様に「クラブの会合の秩序を維持することおよび、会長または理事会によって決められる任務を行う。」をモットーとし、例会場が格調高く気品と風紀を保ち会員及び来訪者が有意義な時間を共有出来る事を目標に一年頑張りたいと思います。

今年度も諸先輩方が行ってきたSAAとしての役割をしっかりと継承しながら、南村会長の言われる「～ さあ未来への鍵を見つけよう ～」を実践できるような例会を開催出来る様にしたいと思います。

最後になりますが、理想の例会はSAAだけで出来るものではありません。皆様のご協力を心よりお願いしましてSAAとしての計画発表とさせて頂きます。



**クラブ管理運営常任委員会／プログラム委員会
波多野 智明君**

本年度、クラブ管理運営常任委員会並びにプログラム委員会の委員長を務めさせていただきます波多野です。代々この役職はパスト会長が務められてきたクラブ運営にとって大変重要なポジションということで、前年度の副会長に続き身の引き締まる思いですが、副委員長の木本寛君、委員の川崎良一君の力添えをいただきながら一年間活動してまいりますので宜しくお願いします。

委員長所信にも書かせていただきましたが、ロータリーの基本はクラブであり、クラブの基本は例会であると言われています。卓話を聴き、様々なことを学び、会員相互の友情を深め、その結果として奉仕の心が育まれる。そしてこの例会における一連の活動こそが「親睦」であることを意識し例会を運営してまいります。

また最近ロータリークラブでの DEI(多様性、公平性、包括性)の精神ということがよく言われています。多様性とはあらゆる背景をもつ人や幅広い文化、経験、アイデンティティの人を歓迎する。公平性とはクラブ会員の公平な扱いと機会の均等を保つように努める。包括性とはあらゆる人が歓迎されていると感じ、尊重され会員として大切にされるクラブの環境づくりに力を注ぐことだそうです。

簡潔に言えば「多様性ある会員基盤」「誰もが公平に大切にされる場所」「誰にも居心地がいい場所」を心掛けてまいります。その成果として一体感や帰属意識が増し、退会防止にも繋がればと思います。

そして本年度は江南ロータリークラブ60周年という節目の年です。

例会変更として11月の橋下徹氏をお呼びしての記念講演会、3月の布袋駅前広場での奉仕プロジェクト事業、そして5月の記念祝賀会と大きな事業が3つあります。これらの事業がこの先の江南ロータリークラブの発展に繋がるよう積極的に関わっていきたく思います。1年間宜しくお願いいたします。



例会運営委員会 田中 健君

皆様、こんにちは。
本年度、例会運営委員長を拝命しました田中でございます。
未熟者で御座いますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

本年度の例会運営委員会は、委員長が私、副委員長に岩田進市さん、委員に尾関さん、林さん、松野さんの5名となります。私含め2年未満が3名もおりますので、経験豊富な岩田進市さんと尾関さんに支えていただきながら、若さ溢れるエネルギッシュな部分も出していきたいと思っております。

本年度の重点取り組みとして計画要項に6項目記載しております。

1 SAAと連携を図り、円滑な例会運営に努めます。
円滑に進めるためには、事前の準備と情報の共有が重要となります。ラインを活用したり、席次表を受付に掲示するなどして、様々な見える化を図っていきます。

2 出欠席の確認を密に行い、フードロスを極力なくし、経費削減に努めます。

ペーパーでの欠席連絡表を基に、ライン及びお電話にて最終確認をさせていただきます。現在、例会開催週の月曜日にラカーサさんへお弁当の発注をしておりますので、予定変更となった方は、なるべく月曜日までにご連絡いただくと大変助かります。

又、月曜日以降であっても、出欠や遅刻等に関わることは私までご連絡をいただきますよう併せてお願い申し上げます。

3 出欠席の確認と共に、会員の出席率向上に努めます。

少しお声を掛けるだけでも意識が変わることがあると思っておりますので、出席への感謝を忘れずに今後もお声掛けしていきたいと思っております。

4 月に1回以上は座席の指定を行い、会員同士の交流をより深めます。

月に1回は完全座席指定をする予定です。SAAの岩田静夫さんと企画をして、1年を通して色々な方と交流ができるようにしていきたいと思っております。又、フリー席の場合でも、親睦を目的として各テーブルに1名の入会3年未満会員を配置させていただき、諸先輩方に可愛がっていただきたいと思っております。

5 ゲスト及びビジターのアテンドを徹底し、例会参加満足度向上及びビジター入会率UPに努めます。

おもてなしの精神で、好感度の高い対応を心掛けます。

6 60周年記念事業への積極的な参画。

過去一番の盛り上がりとなるように、全力でサポートしたいと思っております。

以上の重点6項目を1年間遂行し、江南ロータリークラブの新しい文化・風土作りの一翼を担うことができれば幸いです。

ご迷惑をお掛けすることも多々あるかと存じますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



親睦活動委員会 内田 吉信君

本年度、親睦活動委員長を務めさせていただきます内田吉信です。

メンバーは副委員長に田崎健一郎さん、委員に永田広光さん、駒田洋平さんと私の4名でございます。

私のロータリークラブ入会前の会のイメージは、地元の有力者が集まる【敷居が高く、厳格で堅苦しい場】でした。ところが入会后、例会や様々な同好会等の活動を通し、会員の皆様と交流や親睦を深めさせて頂くうちに、入会歴の浅い会員でも意見が言えるような居心地の良い会だと分かって参りました。今年度も私のように誤解して入会されてみえる新入会員さんはもちろんですが、会員の皆様に参加してみたくなるような活動(同好会)を企画して参りますので是非ご参加・ご協力の程、宜しくお願い致します。

本年度、南村会長は年度方針で《古き良きものを改めて見つめ直し、新しい価値観と向き合いながらこれからの江南ロータリークラブの在り方を模索していく1年となるのではないかと掲げられました。

私は入会して1年半とまだ日が浅く知識や経験があまりありませんので、諸先輩方の従来の親睦を尊重しつつ、新しい発想を活かし『好意と友情を深められるか』を念頭に、自分なりの「親睦活動」を委員の皆様のお力を貸して頂きながら開催して参ります。

本年度は、前年度会員の皆様に好評だった「行こまい会」に続き、同好会として「楽しんでる会(?)」を企画開催して参ります。諸先輩方はもちろん、入会歴が比較的浅い会員の皆様には極力ご参加いただくことで、私が

経験させて頂いたように、先輩方との懇親からよりロータリーの楽しさ・居心地の良さを理解して頂けたら・・・と考えております。

そこで、第1弾として8月10日に《日本ライン夏まつり ロングラン花火》を美味しい食事と共に鵜飼の船上より皆様と共に鑑賞する席をご用意させていただきます。また、第2弾として歌好きな方なら誰でも比較的気軽に参加しやすい『カラオケ同好会』の立ち上げも予定しております。ご参加いただいた皆さんが歌を通して自己表現して頂くことで仲間である会員各々の事をより深く知って頂くことを発足理由の一つとしております。

例会活動としましては、12月21日土曜日にストリングスホテル名古屋にて年忘れ家族会を開催予定です。江南ロータリークラブ60周年ということもありTVでも馴染みのあるゲストをお招きし、ご参加いただいたご家族の皆さんにも楽しんでいただけるような会を盛大に開催したいと考えております。

そして本年度の会員祝福では、誕生日記念品としてSDGsにも配慮された多機能ボールペンをご用意いたします。こちらのグリップの部分は、江南ロータリークラブと同じような歴史を持つ、60年程前のウスキー樽を再利用し製作されている味わいのある一品となります。皆様それぞれのネーム入りとなりますので、愛着を持ってご使用頂けるのではないかと考えております。

以上で親睦活動委員会の年間事業計画の報告を終わらせて頂きます。

委員一同、沢山の皆様にご参加いただくことで、江南ロータリークラブをより活性化させていきたいと思っております。1年間どうぞご理解とご協力のほど宜しくお願い致します。



会員増強委員会 山崎 博征君

本年度、会員増強常任委員長を仰せつかりました、江南ロータリークラブ最年少の山崎です。2022年に入会し本年3年目になりますが、いまだに私より若い会員がいないということで、今年はず、私より若い会員を増強したいと思います。また、本年で江南ロータリークラブが60周年の節目であり、会員数も60名になるように増強したいと思います。そのために、ま

ずは会員候補者の情報を当委員会で収集しとりまとめ、グループLINE等デジタル技術を活用して、皆様と情報共有したいと考えます。そしてその情報を元に、会員皆様の巻き込んで会員増強を邁進したいと思います。私一人では、まったく増強できる自信がありませんので、どうか皆様のお力添えをよろしくお願い致します。最後になりますが、会員の増強だけでなく退会者ゼロも目指していきます。どうぞよろしくお願い致します。



ロータリー財団常任委員会／ロータリー財団委員会 猪子 明君

ロータリー財団常任委員会委員長の猪子 明です。副委員長の森 弘好さん、委員の岩井正彦さんとともに一年間委員会活動に励みたいと思っております。ロータリー財団委員長として今年度のクラブ計画書にある委員長所信は、「ロータリーの会員は会費を通じて国際ロータリーを支援し、寄付を通じてロータリー財団を支援しています。その重要性に理解を深め、ロータリー財団、米山奨学会を支援する活動を実施したいと思います。」と記載させていただきました。

また、委員会の計画要項の一部といたしまして「ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困を無くすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにする事です。当委員会はその使命についてロータリー会員皆様に理解を深めていただき活動を推進します。それにあたり、1.年次基金一人\$150、ポリオプラス基金一人\$30の寄付を目標とします。これについては後で詳しく説明させていただきます。2.クラブでベネファクター1名もしくは恒久基金\$1000以上、ポール・ハリス・ソサエティ(PHS)1名以上ポリオプラス・ソサエティ(PPS)会員の5%以上の認証をめざす。これには、伊藤靖祐君がポール・ハリス・ソサエティ(PHS)にいられておりますし、ポリオプラス・ソサエティ(PPS)には、伊藤靖祐君、南村朋幸君、中村耕司君が登録されておられます。3.ロータリーカードの会員普及に努め、その役割や理解を深める。この金額は、2760地区からの要望であります。よって江南ロータリークラブより先週の本年度第一例会の際ですが、皆様に本年度の会費のお願いを紙面にてお手元に届いております。内容の一部ですが、会費前期分130,000円の中から70ドル約11,000円を国際ロータリーへ人頭分担金という科目でご支援していただきます。また、寄付としては、ロータリー財団寄付前期分11,000円 米山記念奨学会

全期分寄付 4,000 円があります。また、半年後にロータリー財団後期分 11,000 円(ポリオプラス基金 3,000 円分含む)を予定しております。これらの金額は一年前のロータリーレート1ドル 136 円では目標に値するのですが、今年7月のロータリーレート 161 円、25 円も値が下がっています。地区からの目標設定が全てドル建てなので全ての項目において金額が少し足りない状態です。そこで南村会長の発案で、皆様のテーブルの中央に募金箱を設置させていただきました。ゼロポリオを目的とした募金箱です。今財布にあるコインを募金して下さいという発想ですが、紙幣も大歓迎です。この募金の集計金額は原則として毎月第 1 例会の委員会報告にて報告させていただきます。最後に、改めて述べさせていただきますが、ロータリーの会員は会費を通じて国際ロータリーを支援し、寄付を通じてロータリー財団を支援しています。当ロータリー財団委員会は、その重要性に理解を深め、ロータリー財団、米山奨学会を支援する活動を実施したいと思います。ご理解ご協力をお願いいたします。



米山奨学委員会 榎本 哲一君

本年度の米山奨学委員会は 私、榎本を委員長に、杉浦賢二さんを副委員長(兼地区米山記念奨学委員会委員)に、委員に伊藤鶴吉さん、庄田元久さん、の私より経験豊富な大先輩ばかりで務めさせていただきます。

本年度 米山記念奨学制度指定校応募により 当クラブは

- ・CAO NHI LY YEN (カオ ニー リ イエン)さん
 - ・ベトナム出身 女性 22 歳
 - ・名古屋経済大学経済学部経済専攻 3 年生
 - ・期間:2024 年 4 月 1 日~2025 年 3 月 31 日
- を支援します。

そこで、今年目標は「奨学事業の理解促進並び奨学生、学友との交流促進と広報に努める。」としました。

具体的には 米山奨学生を可能なかぎりクラブの一員として行動を共にし、友好関係を築き、例会では 少しでも多くの発表の場を設ける事により、広く会員の理解と支援をお願いする様心掛けて頂きます。

資料「クラブ米山記念奨学委員長の手引き」の冒頭に「奨学事業の価値は 地区米山記念奨学委員会が採用した奨学生をクラブが どの様な奨学生に育てたか、育ってくれたか」とあります。

また、当事業の使命は「将来、日本と世界を結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き

理解者となる人材を育成することです。」ともあります。(決して金員に恵まれない留学生・学生を支援するものではありません。)

ところで、これまで当クラブが支援してきた奨学生のその後についてどれほど把握されていいますか。

本年度は60周年という大変重要な節目であります。

これまで接点のあった奨学生の「その後の活躍」を追跡・掘起しを試み、皆様に御報告・周知して頂くと共に、再度、ロータリー精神を伝え、奨学生の責任と義務を自覚してもらい、今後も連絡を取合い、懇親・交流の再構築元年に出来ればと考えています。ロータリーとの出会いを「人生の宝物に」。

車や機械だけでなく 人間関係も日頃のメンテナンスの積重ねが必要なのです。

<試算 2760 地区(2024 年度)>

奨学生数 56 人(内中国 14 人 25%) (学部生 28 人 博士・修士生 28 人)

奨学金/人/年 学部生 120+6 万円 博士・修士生 168+6 万円

支給額合計/年 8,400 万円

<残念な数字>

学友全体数 22, 609 人中(除現役) 死亡者 117 人(0.5%)、住所不明者 4, 859 人(21.5%)

本日の食事



会頭表敬訪問



江南商工会議所 会頭 松永 金次郎様(中央)

会報揭示板



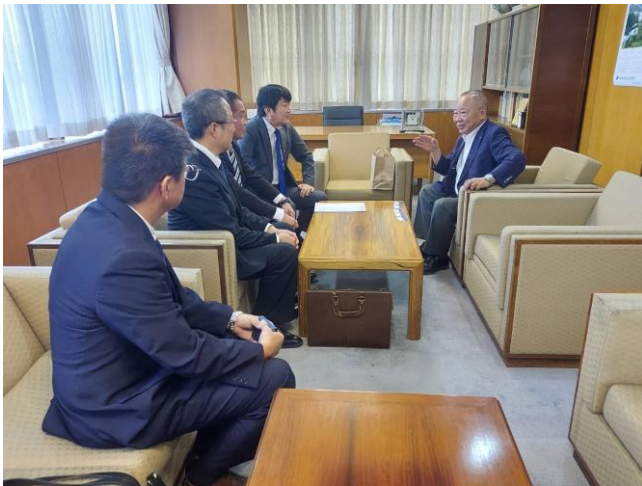
My ROTARYの登録はこちら
※初めての方は
アカウントを作成してください。
※アカウントがある方は
ログインをご覧ください。



ROTARY 2760
アプリダウンロードはこちら



江南 RC 会報 YouTube
チャンネル登録はこちら



写真等ございましたら会報までお知らせください。
(担当 横山史明)

